



新緑に衣替え
した研修セン
ター裏庭の
あじけん桜

あじけん通信

2023

MAY

VOL.185

企画・編集 澁谷 健司
栗又 由利子

5月に入りました。カラッとした過ごしやすい日が続いています。今月8日からは新型コロナウイルスが第2類から5類に引き下げられたのを受けて、当校でもマスクの着用を個人の判断にゆだねることとなりました。お互いにマスクを外して会話することに、多少の違和感を覚えることもありますが、教室や廊下で実習生の皆さんのマスクから解放された明るい笑顔を目にする度に、新型コロナウイルスとの長かった戦いの出口が、ようやく見えてきたことを実感しています。

～ 新型コロナウイルス感染防止対策の変更についてのお知らせ ～

冒頭でもお伝えした通り、当校では5月8日からマスクの着用に関して、授業中・休み時間・登下校時を問わず、個人の判断を尊重することとなりました。2020年3月以来、3年2ヶ月ぶりに、口元を見せての発話指導や、お互いの表情を確認しながらの会話練習が教室に戻ってきています。これを機に、コミュニケーション活動をより積極的に取り入れ、実習生の皆さんの更なる会話力向上に取り組んで行きたいと思っております。



5月8日(月)の教室風景



マスク無しで先生と会話練習する実習生

今月の実習生

今月は、お揃いの大きなお弁当入れ持参で登校していると話題になったベトナム人実習生、写真向かって左から NGUYEN THI HIEN (ヒエン) さん VO THI THANH DUYEN (ズエン) さん NGUYEN THI LAN (ラン) さん PHAN THI YEN (イエン) さん VU THI HUONG (フオン) さん

LE THI NGA (ガー) さんの6人をご紹介します。お弁当の中身も気になったお揃いの大きなお弁当入れで登校する実習生の皆さんなので覗かせてもらおうと、美味しそうなおかずがたっぷり入った彩とりどりのお弁当が目飛び込んできました。毎日バランスの良い食事をしっかり摂っているので、授業中も元気一杯の6人。実習が始まってからも、持ち前の元気と明るさで、頑張ってくれることでしょう。



お揃いの大きなお弁当入れで登校する実習生の皆さん



お揃いの大きなお弁当箱をオープンすると・・・。



あじけん流日本語授業

～あじけん流 教室活動集より⑤～

今月のあじけん流日本語授業は、「あじけん流教室活動集」の実践編第5弾をお伝えします。この活動集は、休業中の研修会で考えた教室活動のアイデアを一冊にまとめたものです。

今回はその活動集より、「～てしまいました」の学習です。まず、クラス全体で、「～てしまいました」という文型の意味用法の確認をします。次にクラスを5～6のグループに分け、各グループに「場所（駅、工場など）」が書いてあるカードを配ります。そのカードに書いてある場所で起こるトラブルを考えて「～てしまいました」を使った会話を作ります（写真①）。例えば「駅」というカードなら、「切符をなくしてしまいました」というトラブルを報告する会話をグループで出し合います。会話を作り終わったら、グループごとに発表をします。他のグループはその発表を聞いて、どんな場所での会話を考えます。発表グループは、1名が聞き役（工場長、駅職員など）になり、他の実習生は、順番に自分たちが考えたトラブルを聞き役に報告します（写真②）。他のグループはそのトラブルの報告を聞いて、どの場所での様子が答えをショーマーボード（手作りのホワイトボード）に記入し（写真③）、その場で掲げます（写真④）。正解だったらポイントがもらえます。この発表を全グループで繰り返し、ポイントが多かったグループの勝ちとなります。

実習先で緊急事態や、トラブルが起きたときは、自分の日本語で伝えなければなりません。そのための日本語表現はとても重要だと考えています。これからも実習生の実習先での姿を想像しながら、身につけさせたい日本語を研究し、楽しく習得してもらおう方法を模索していこうと思っています。



写真1：辞書、国から持ってきたテキスト、語彙集を使って、一生懸命考えています。



写真2：発表グループは聞き役と報告役にわかれます



写真3：みんなで真剣に答えを考えています

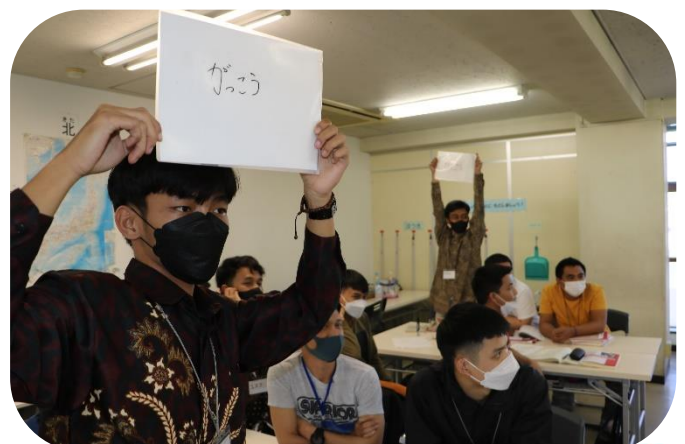


写真4：ショーマーボードに記入して掲げる

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。